



よこはま

2017年 6月23日

第206号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横浜地域連合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市民文化会館 402号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 中田 節樹
編集責任者 宮城 宏之・岩沢 弘秋



第88回かながわ中央メーデー

「クラシソコアゲ」・底支え、格差是正の実現とともに、長時間労働を撲滅し、ハッピーライフを実現しよう



「STOP! 長時間労働」街頭アンケート実施

主催者を代表し、連合神奈川 奈川 柏木 教一 会長は、「罰則付き時間外労働の上限規制が法制化される。我々は労働運動で働きがいのある社会、仕事と生活を両立できる社会を求めてきた。しかし、長時間労働で命や健康を損なう仲間が後を絶たない。『KAROSHI(過労死)』という不名誉な国

際語をなくすために取り組んでいく。全ての働く者の連帯で、暮らしの底上げと未来への責任を果たしていかなければならない」と訴えた。

来賓として、黒岩 祐治 神奈川 県知事、林 文子 横浜市 長、各政党代表などが出席した。

林市長は登壇前に、横浜地域連合のブースに立ち寄

「第88回かながわ中央メーデー」開催 「クラシソコアゲ」・底支え、格差是正の実現とともに、 長時間労働を撲滅し、ハッピーライフを実現しよう!

2017年度「まちかど労働相談」実施

連合神奈川の労働アドバイザーを中心に、弁護士(神奈川総合法律事務所)や労働問題の専門家による「まちかど労働相談」を実施する。解雇や退職強要などの雇用問題や、雇用契約や出向、転職など労働契約に関する相談、賃金未払いなど多義にわたって相談を受ける。

横浜地域連合は五役メンバーが、横浜駅を通行する人々に労働相談実施中のアピールとチラシを配布する。



連合神奈川が毎年実施している「まちかど労働相談」、今年の開催日程は、第1回…5月13日(土)、第2回…6月17日(土)、第3回…9月3日(日)、第4回…10月9日(祝・月)計4回、時間は13時～17時まで。会場はすべて横浜「新都市プラザ」(横浜そごう前広場)。

「第88回かながわ中央メーデー」が4月29日、横浜みなとみらい21(MM21)地区・臨港パークで開催され、連合の組合員をはじめ、関係団体など諸団体から約8800人(主催者発表)が参加し、長時間労働の撲滅、デイセント・ワークの実現、格差是正の実現を訴えた。

なお、横浜地域連合中田議長は、昨年引き続き式典議長を務めた。



林市長を激励する横浜地域連合五役

7月16日告示
7月30日
投開票



横浜地域連合は、臨時五役・地区連合代表者合同会議(6月7日開催)において、林文子氏(現横浜市長)の推薦を決定しました。

選 横 濱 市 長
拳

第22回政令指定都市地域協議会 2017年度県外視察in新潟市

6月8日(木)～9日(金)にかけて、新潟市で「第22回政令指定都市地域協議会連絡会議」が開催され、横浜地域連合は中田議長はじめ五役、地区連合代表、横浜市行政担当局他19名が参加した。

また、6月7日(水)には「2017年度県外視察」を行い、新潟県三条市にある農機製造メーカー「井関新潟製造所」を見学した。

「連合第22回政令指定都市地域協議会連絡会議」は、6月8日(木)～9日(金)にかけて、全国から約150名が参加し、「万代シルバホテル」(新潟市)で開催された。

新潟地域協議会(以降、新潟地協)川崎晃事務局長の司会で開会、初めに開催地を代表して、新潟地協石本伸二議長から、「今年も全国の政令市各地域から事例報告や意見交換を通じて



第22回政令指定都市地域協議会(中央は石本新潟地協議長)

2017年度県外視察 (新潟県燕三条市)

「株式会社井関新潟製造所」



井関新潟製造所工場説明の様子

燕三条市は、プレス・鍛造・機械加工等による部品加工から最終製品の出荷までを自社で対応できる企業が多数ある。そのような中に、農業機械の総合メーカー「株式会社井関新潟製造所」を視察した。

我が国の農業の近代化に尽力し、乗用田植機、耕耘機、野菜移植機等

2017年度の県外視察は、「洋食器のまち」燕三条市の「株式会社井関新潟製造所」を視察した。

燕三条市は、プレス・鍛造・機械加工等による部品加工から最終製品の出荷までを自社で対応できる企業が多数ある。そのような中に、農業機械の総合メーカー「株式会社井関新潟製造所」を視察した。

有意義な会議としたい。また、温泉やスキーだけでなく、米どころ新潟、ものづくりの燕三条など新潟を満喫していただきたい」と挨拶した。また、来賓では、牧野茂夫連合新潟事務局長及び篠田昭新潟市長から歓迎と連帯の挨拶があった。

新潟市の紹介の後、齊藤和弘新潟市農林水産部

ニューフードバレー特区課長から、行政報告「新潟市革新的農業実践特区」農業を核に地方創生のトップランナーに」と題し、新潟の農業政策の実情と課題について講演が行われた。

休憩をはさみ、熊本地域協議会の西村辰明議長代行と大阪南地域協議会の牟田和広事務局長から地協報告が行われた。

次回開催地には「大阪市」が満場一致で決定し、会議は閉幕した。

を製造している。工場見学では、田植機・糊摺り機等が完成するまでの工程を、プロジェクトマッピングを使用した「ISEKIドリームギヤラリー新潟」において、農業機械の変遷、製品技術や食料自給率向上に向けた取組・地産地消の紹介などの説明を受けた。次に田植機、野菜移植機、バインダの組立の製造工程を見学した。360度映像によるバーチャル田植え体験は実際に田植をしているような感覚を体験することができた。



バーチャル田植え体験の様子

視察に際し、井関新潟製造所労働組合(JAM)丸山康弘委員長以下外視察を終了した。

執行部の出迎えを受けた。短い時間ではあったが、地域における活動について意見交換することができ、交流がはかれた。次に金属製生活用品がすべてそろい、通販でも有名な「洋食器アウトレット・ストックバスター」を見学し、県外視察を終了した。

横浜地域連合

「第25回ボウリング大会」開催

横浜地域連合は「第25回ボウリング大会」を6月17日(土)、「ソプラティコ横浜関内店(旧ハイランドレーン)」において開催した。総勢90名が参加した。

「第25回ボウリング大会」は中田議長、坂本市議会議長、横浜労金、菅沼支店長の始球式で開始した。ゲームは2ゲームトータルの個人戦。優勝を目指して戦った。

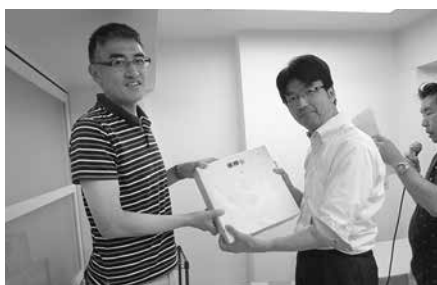
表彰式では、連合神奈川、中央労金、全労済神奈川県本部、横浜労協、民進党県議団有志・市議会議員団から提供いただいたものに加え、熊本名産品をいれ復興支援とした。成績を発表するとともに賞品が渡され、和やかな雰囲気の中で終了となった。



始球式

第25回ボウリング大会 入賞者

順位	氏名	出身組織	スコア
優勝	大山 正 治	横浜市議	418
準優勝	野口 辰五郎	西南地区連合/横交労組	379
3位	明石 啓 治	西部地区連合/横交労組	375
4位	戸 沢 東	全水道/横水労組	366
5位	國 田 順 平	JAM/ボッシュ労組	362



優勝した大山市議(右)

2017ピースウィーク行動

実施日時 8月5日(土) 12:00~
場 所 JR桜木町駅頭

2017恋活パーティー開催

実施日時 9月16日(土) 18:00~
場 所 ホテル横浜ガーデン

コラム「るーぶ」

4月の入社から、間もなく3か月が過ぎ、仕事や人間関係にも少し慣れた頃かと思えます。一方、3か月を過ぎた位が離職の多い月という統計も出ています。職場では人間関係が希薄化し、同期の悩みや後輩の苦勞も感じ取れない組織になっ
ていませんか?
そんな時こそ労働組合の出番です!
互いを支え、笑顔の職場を...



横浜地域連合 議長代行 二階堂 健 男

column「Loop」